

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年08月01日

計画の名称	札幌市大規模盛土造成地の変動予測調査（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	札幌市												
計画の目標	第一次スクリーニングにより抽出された大規模盛土造成地について、基礎資料の整理・検証を実施し、マップの高度化を行い、第二次スクリーニングに向けた計画を策定する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	490	A	490	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	第二次スクリーニング計画作成と更新したマップの公表 大規模盛土造成地マップを第二次スクリーニング調査の優先度評価の結果を反映したものに更新。 (更新したマップの公表率) = (更新したマップの公表が完了した地区数) / (大規模盛土造成地が存在する地区数7地区)	H31 0%	%	R5 100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	北海道	札幌市	直接	札幌市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査(札幌市)	変動予測調査の第二次スクリー ニング(123km ²)	札幌市						490	-		
												小計						490		
												合計						490		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として札幌市で実施	令和6年7月
	公表の方法
	本市ホームページに公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	簡易的な地盤調査及び安定計算に基づき、従来の大規模盛土造成地マップをその盛土がどのような調査・対策状況なのかわかるマップへの高度化を図った。これにより、大規模盛土造成地の変動予測調査の進捗が向上するとともに、宅地防災に関わる情報提供により市民の防災意識の一層の向上に努めた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後は、策定した第二次スクリーニング計画に基づき、優先度の高い盛土から詳細調査（二次スクリーニング）を行うとともに、必要な予防対策を実施することで、大規模盛土造成地の地震時の滑動崩落に対する防災・減災を図る。また、当該事業に関わる取り組み状況のマップへの反映及び周知を継続する。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	更新したマップの公表率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%